

(別紙)

第三者評価結果

評価対象Ⅰ 福祉サービスの基本方針と組織

Ⅰ-1 理念・基本方針

		第三者評価結果
Ⅰ-1-(1) 理念、基本方針が確立・周知されている。		
1	Ⅰ-1-(1)-① 理念、基本方針が明文化され周知が図られている。	a・b・c
<p><コメント></p> <p>こがねい保育園は理念を「入所する子どもの最善の利益を考慮し、その福祉を積極的に増進することに最もふさわしい生活の場をつくる。」「命を尊び、自然を愛し、心身ともに健やかに育てる。」と掲げ、これらの理念のもとに4つの基本方針、3つの保育目標が設定、明文化されています。これらは各クラスや事務室などに掲げられ、職員や保護者は日常的に目にするできるようになっています。また、園を紹介するリーフレットや「入園のしおり」、保育課程などに明記し、保護者へは、新入児オリエンテーションで説明し、周知を図っています。</p> <p>今回実施した職員アンケート結果をみると、「法人又は事業所の理念や方針について会議や研修で取り上げるなど職員の理解を深める取組を行っていますか。」の問いに「できている」との回答率は低くなっています。職員の理解を深める取組みが望まれます。</p>		

Ⅰ-2 経営状況の把握

		第三者評価結果
Ⅰ-2-(1) 経営環境の変化等に適切に対応している。		
2	Ⅰ-2-(1)-① 事業経営をとりまく環境と経営状況が的確に把握・分析されている。	a・b・c
<p><コメント></p> <p>下野市の第二次総合計画、子育て応援しもつけっ子プラン、また、公立保育園民営化実施計画において、本市の子育てや保育園を取り巻く環境、経営状況が分析されており、それらは本園に配付されています。また、園長は研修会や会議に出席し、保育を取り巻く現状、動向について講義を受け研鑽を積んでいます。今回実施した職員アンケート結果をみると、「施設長は職員に対して経営状況や経営上の課題について説明していますか。」の問いに「できている」との回答率は低くなっており、職員の理解を深めるために、さらなる説明、周知活動の取組を進めることが望まれます。</p>		
3	Ⅰ-2-(1)-② 経営課題を明確にし、具体的な取組を進めている。	a・b・c
<p><コメント></p> <p>職員配置、施設・設備の整備など、本園の整備課題については、事務事業評価シートにより整理され、本庁で保育士の採用計画、公共施設等総合管理計画、保育園遊具修繕計画が立てられ、これらの計画に従って予算化が図られ、具体的な事業が計画的に行われています。</p>		

事務事業評価シートは、園長よりこども福祉課に提出され、こども福祉課による1次評価、委員会、市長による2次評価がされ、市全体で総合評価が位置づけられ、具体的な整備事業に結び付けられています。

I-3 事業計画の策定

		第三者評価結果
I-3-(1) 中・長期的なビジョンと計画が明確にされている。		
4	I-3-(1)-① 中・長期的なビジョンを明確にした計画が策定されている。	(a) b・c
<p><コメント></p> <p>下野市の上位計画である「下野市第二次総合計画」において本市の子育て環境づくりの中・長期ビジョンが掲げられ、それをもとに子育て環境整備の「下野市子育て応援しもつけっ子プラン」、さらに「下野市公立保育園民営化実施計画」が策定されています。この民営化実施計画において本園は、平成34年度から民営化されることが決定されています。</p>		
5	I-3-(1)-② 中・長期計画を踏まえた単年度の計画が策定されている。	(a) b・c
<p><コメント></p> <p>市の「第二次総合計画」をもとに、5年間の事業計画として「子育て応援しもつけっ子プラン」があります。この計画において各年度の事業目標が定められ、事業の進捗を勘案しながら年度の予算要求を踏まえ、年度の実施計画が策定されています。本園の年度事業もこの計画のもとに予算化が図られ、実施計画に盛り込まれています。</p> <p>保育内容についての年度計画については、主な計画として保育課程、年間指導計画、年間行事計画があり、年間の保育活動が計画的に行われています。その他、園の環境整備計画、避難訓練年間計画、職員研修計画など、各部門についても年間計画が作成され、それによって計画的に活動が行われています。</p>		
I-3-(2) 事業計画が適切に策定されている。		
6	I-3-(2)-① 事業計画の策定と実施状況の把握や評価・見直しが組織的に行われ、職員が理解している。	(a) b・c
<p><コメント></p> <p>事業計画とは「第二次総合計画」や「子育て応援しもつけっ子プラン」、また各年度の「実施計画」が相当し、本庁企画部門やこども福祉課が担当しています。策定にあたっては子育て関係事業者、保護者代表が策定会議に参加するなど、子育て当事者や支援の現場の意見を踏まえ、定期的に見直し、計画策定が行われています。</p> <p>本園の保育課程、年間指導計画、年間行事計画など保育内容や園の活動については、担当者が決められグループで検討したり、主任が中心となり検討を行っており、検討結果は園内会議で協議され、決定されます。行事等については実施後、保護者へのアンケートを実施し、グループ会議や園内会議で結果の反省、評価を行い、問題点や改善点を明確にし、次年度の計画に反映しています。</p>		
7	I-3-(2)-② 事業計画は、保護者等に周知され、理解を促している。	a (b) c

<コメント>

第二次総合計画や子育て応援しもつけっ子プランなどの中・長期計画、各年度の実施計画等の事業計画については、入園のしおりや保護者会総会資料などの資料に記載がないことから、説明は行われていないものと思われます。

保育内容に関しては、年間行事予定を入園のしおりに記載、配付しています。また、行事ごとの詳細な案内は、実施に際して配付しています。今年の運動会では、前年度より詳細な会場のレイアウト図や駐車場の案内図を配付し、分かり易くしたとのことでした。

I-4 福祉サービスの質の向上への組織的・計画的な取組

		第三者評価結果
I-4-(1) 質の向上に向けた取組が組織的・計画的に行われている。		
8	I-4-(1)-① 保育の質の向上に向けた取組が組織的に行われ、機能している。	a・b・c
<コメント> 今年度は改定された新保育指針を全職員に配付し、園内会議で全文の読み合わせを行い、保育士としての意識の向上を図っています。 研修活動については、各保育士の研修実績を考慮し、外部の研修事業に職員を割り当てた園外研修計画が、また市内5園の園長、主任保育士が担当して実施する市内研修会、年齢別研修会が計画的に実施されています。		
9	I-4-(1)-② 評価結果にもとづき保育所として取組むべき課題を明確にし、計画的な改善策を実施している。	a・b・c
<コメント> 今回実施した職員アンケートでは「組織の課題やサービス内容についての調査や自己評価を実施し、職員も参加して結果の分析や課題の検討を行っていますか。」の問いに、また「組織の課題やサービス内容についての自己評価等の結果や課題を職員間で共有化していますか。」の問いにも「できている」との回答率は低い結果になっており、自己評価の結果にもとづく改善活動の取り組みが望まれます。		

評価対象Ⅱ 組織の運営管理

Ⅱ-1 管理者の責任とリーダーシップ

		第三者評価結果
Ⅱ-1-(1) 管理者の責任が明確にされている。		
10	Ⅱ-1-(1)-① 施設長は、自らの役割と責任を職員に対して表明し理解を図っている。	a・b・c
<p><コメント></p> <p>本市の就業規定や職務分掌に園長の施設長としての責務、権限が規定されています。また、火災・自然災害等の緊急時の対応（指示系統等）における園長の役割、責任はマニュアルに明示されており、園内研修で定期的に取り上げ、確認を行っています。園長は日頃職員に対し、適切な指示、助言を行っており、園内会議の会議録により、その様子をうかがうことができました。</p>		
11	Ⅱ-1-(1)-② 遵守すべき法令等を正しく理解するための取組を行っている。	a・b・c
<p><コメント></p> <p>事務室内に子育て支援に関連する法令集や保育園に関する例規集を置き、いつでも確認できるようにしています。今年度は新保育指針で示された関連法令の資料を全職員に配付し、意識の向上、理解を深める取り組みを行っています。</p> <p>園長は施設長としての研修や各種会議に出席し、その活動を通して子育て支援に関連する遵守すべき法令等の情報収集、把握に努めています。また、園長は講習を受け、防火管理者、安全衛生推進者としての資格を取得し、管理者としての資質の向上を図っています。</p>		
Ⅱ-1-(2) 管理者のリーダーシップが発揮されている。		
12	Ⅱ-1-(2)-① 保育の質の向上に意欲をもち、その取組に指導力を発揮している。	a・b・c
<p><コメント></p> <p>園長が中心となり、職員研修計画を立て、園内、園外の研修活動に積極的に参加することを推進しています。園長は、個々の職員の保育の質の向上、さらには園全体の保育の質の向上に向けて意欲を持ち、指導力を発揮していることがうかがえます。</p>		
13	Ⅱ-1-(2)-② 経営の改善や業務の実行性を高める取組に指導力を発揮している。	a・b・c
<p><コメント></p> <p>園長はさまざまな園の課題に対し、的確な判断と指導力を発揮して、園の運営にあたっています。職員の配置については、入園希望者に応じて市こども福祉課が、市内公立保育園と協議して、適正な保育士の配置を行っています。また、今年度は園内遊具の危険個所について職員から報告があり、修繕を検討し、木製遊具の板を全部取り替えました。また、街灯が点灯しないことから安全面を考慮しセンサーライト、駐車場に反射板を設置するなど、園の設備改善に指導力を発揮し、進めていることが確認されました。</p>		

Ⅱ-2 福祉人材の確保・育成

		第三者評価結果
Ⅱ-2-(1) 福祉人材の確保・育成計画、人事管理の体制が整備されている。		
14	Ⅱ-2-(1)-① 必要な福祉人材の確保・定着等に関する具体的な計画が確立し、取組が実施されている。	a・b・c
<p><コメント></p> <p>本市にとって保育士の確保は、市全体の重要な課題となっています。保育園人事については本庁総務人事課とこども福祉課が行っており、市全体での入園者数と保育士配置の分析が行われ、臨時保育士を含め保育士採用の方針、計画が検討されています。そしてこの計画のもとに新年度職員採用試験の案内、ハローワークへの求人、市広報を使った保育士の募集等を行っています。また、潜在保育士の掘り起こしも行っており「おしゃべりカフェ はじめのいっぽ」を開催し、人材の確保に取り組んでいます。本園においては、「おしゃべりカフェ はじめのいっぽ」の活動を実施しました。</p>		
15	Ⅱ-2-(1)-② 総合的な人事管理が行われている。	a・b・c
<p><コメント></p> <p>正規職員については、本庁総務人事課のもとで総合的な人事管理が行われています。職員の適正配置・処遇、また育成の観点から人事評価が実施され、同時に業務に対する自己評価（チェックリスト）、就業に対する希望について自己申告も行われ、人事評価結果は本人に開示されています。</p> <p>臨時職員については人事評価を行っていませんが、半年毎の雇用契約時に個人面談が行われています。就業継続の意向、保育士としての実績、反省・目標、自分の強み・弱みといった自己評価の申告が行われています。</p> <p>今回実施した職員アンケート結果をみると、「人事考課の目的を職員に説明し、人事考課の結果について職員へのフィードバックがされていますか。」の問いに「できている」との回答は低く、臨時職員に対し人事評価を行っていないことが反映されていると考えられます。臨時職員の実績、能力を最大限に生かすためにも、臨時職員に対する何らかの人事評価制度の整備が望まれます。</p>		
Ⅱ-2-(2) 職員の就業状況に配慮がなされている。		
16	Ⅱ-2-(2)-① 職員の就業状況や意向を把握し、働きやすい職場づくりに取り組んでいる。	a・b・c
<p><コメント></p> <p>休暇等の取得については職員の希望に沿って取得できるようにしており、毎月、各職員の勤務意向を確認し、それをもとに毎月の勤務予定表が作成され、各職員に配付されています。各職員の勤務状況について正規職員はパソコン上の出退勤システムで、臨時職員は臨時職員出勤簿で詳細に管理しています。</p> <p>職員はストレスチェックを実施し、結果によってカウンセリングを受けることになっています。また、園長は職場環境改善のため、メンタルヘルスの研修を受けることになっています。さらに正規職員は産業医の相談を受けられる体制など、職員の健康管理の体制が整備されています。</p> <p>正規職員は課長面談、臨時職員は園長面談を実施し、働きやすい職場づくりに取り組んでいます。</p>		

II-2-(3) 職員の質の向上に向けた体制が確立されている。		
17	II-2-(3)-① 職員一人ひとりの育成に向けた取組を行っている。	a・b・c
<p><コメント></p> <p>正規職員については本市で統一して行っている人事評価制度により、育成に向けた取り組みを行っています。各職員は個人目標を設定し、手段・方法、期間など具体的な実施スケジュールを立てて行われています。個人目標の進捗管理については、目標設定時の期首、進捗状況の確認の中間、期末に課長と面談し、評価を行う体制が整えられています。</p> <p>臨時職員については、年2回面談で目標確認を行っていますが、正規職員のような人事評価制度に基づく取り組みにはなっていないことから、今後の検討が望まれます。</p>		
18	II-2-(3)-② 職員の教育・研修に関する基本方針や計画が策定され、教育・研修が実施されている。	a・b・c
<p><コメント></p> <p>臨時職員を含め、全ての職員に対し研修の機会を作り、参加を促しています。職員には市内5園年齢別研修、テーマ別研修など様々な研修が用意されており、個々の職員専門性を階層に沿って、職員研修計画が立てられ、外部研修、内部研修が計画的に行われています。また、各職員別に研修受講一覧が作成されており、過去の研修活動の実績を考慮しながら、研修計画が作成され、研修が実施されています。</p>		
19	II-2-(3)-③ 職員一人ひとりの教育・研修の機会が確保されている。	a・b・c
<p><コメント></p> <p>下野市内特定教育・保育施設に勤務する保育士や教諭を対象とした研修があり、テーマ別に実施しています。その他、市立保育園では年齢別にテーマに沿った研修を行い、個々の保育士の階層に沿った研修活動を行い、質の向上に努めています。園外研修では研修報告する場を設け、全職員の共通理解に努めています。今回実施した職員アンケート結果で「研修を修了した職員は、報告レポートを提出したり、皆の前で発表する取組はありますか。」の問いに「できている」と回答率が73%となっています。</p>		
II-2-(4) 実習生等の福祉サービスに関わる専門職の研修・育成が適切に行われている。		
20	II-2-(4)-① 実習生等の保育に関わる専門職の教育・育成について体制を整備し、積極的な取組をしている。	a・b・c
<p><コメント></p> <p>実習生の受け入れについては、マニュアルに従って実施しています。学校側の要請に従って実習プログラムを用意し、指導にあたっています。実習生からは毎日実習日誌が提出され、それを担当職員、主任、園長が確認しています。また、実習最終日には園長、主任、担当職員が参加する反省会が行われています。</p>		

II-3 運営の透明性の確保

		第三者評価結果
II-3-(1) 運営の透明性を確保するための取組が行われている。		

21	Ⅱ-3-(1)-① 運営の透明性を確保するための情報公開が行われている。	a・b・c
<p><コメント></p> <p>本園は下野市立保育園であるため、保育園の事業等に関する情報公開は、下野市で行っており、市のホームページで本園の概要が紹介されています。また、今回の第三者評価の実施により、とちぎ福祉サービス第三者評価推進機構のホームページに本園の概要、評価結果が掲載されることとなります。本園の概要を紹介するリーフレットがあり、訪問者や入園を希望する保護者等に配付し、園の紹介に活用しています。</p>		
22	Ⅱ-3-(1)-② 公正かつ透明性の高い適正な経営・運営のための取組が行われている。	a・b・c
<p><コメント></p> <p>本園はパソコンの財務会計システムにより、歳入・歳出の管理を行っており、システムは本庁こども福祉課等と直結しています。また、市による行政監査、県による指導監査を定期的に受審しています。今回実施した第三者評価についても評価結果の公表を予定しており、公正かつ透明性の高い経営・運営の取り組みが行われています。</p>		

Ⅱ-4 地域との交流、地域貢献

		第三者評価結果
Ⅱ-4-(1) 地域との関係が適切に確保されている。		
23	Ⅱ-4-(1)-① 子どもと地域との交流を広げるための取組を行っている。	a・b・c
<p><コメント></p> <p>本園は4つの基本方針の1つに「地域社会と連携を図り子どもの育ちを支える」と掲げ、「地域社会との連携」を柱の一つにおいて、保育活動を行っています。</p> <p>本園の地域の方々との活動については、市の敬老会やふれあい福祉運動会に参加（年長児）し、園児が歌や遊戯を披露したり、一緒に競技に参加するなど、地域の高齢者や障害者との交流を行っています。本園のお祭りである「夕涼み会」では、園の外までお神輿を繰り出すなど、近隣の方々の協力を得ながら実施しています。</p> <p>一方、今回実施した職員アンケート結果をみると、改善を要する点として、「地域との交流がほとんどない。開かれた保育園になっていければもっと良いと思う。」との意見もあり、現在の取り組みを見直し、さらに地域との交流・連携が活性化することを期待します。</p>		
24	Ⅱ-4-(1)-② ボランティア等の受入れに対する基本姿勢を明確にし体制を確立している。	a・b・c
<p><コメント></p> <p>ボランティアの受け入れは、マニュアルに従って実施しており、マニュアルのなかにボランティア受け入れの意義および目的が明記されています。ボランティアの申し込みについては、ここ数年ない状況が続いており、また、中学生職場体験、インターンシップの申し込みもない状況が続いています。</p> <p>保育士の人材が不足する現状にあって、ボランティアは園の運営において貴重な人材でも</p>		

あり、また、保育士を目指す人材を育てるためにも重要であることから、今後、積極的な受け入れの取り組みが期待されます。

Ⅱ-4-(2) 関係機関との連携が確保されている。

25	Ⅱ-4-(2)-① 保育所として必要な社会資源を明確にし、関係機関等との連携が適切に行われている。	a・b・c
----	---	-------

<コメント>
職員が携帯する「しもつけ保育ポケット」には、保育の場面、緊急時の対応に従って、関連する施設は部署の連絡先が書き込まれていて、いつでも確認することができます。
園児の引き継ぎなどで連携が求められる地域の幼稚園、保育園、小学校とは幼小連絡協議会の会議に出席するとともに、授業参観、保育参観、小学校見学などを行い、交流連携を図っています。
関係機関の連絡協議機関として、幼小連絡協議会、要保護児童対策地域協議会、生涯学習推進委員会等があり、市内5園の園長が参加しています。また、5歳児健康相談事業において子どもの発達支援活動を行っています。

Ⅱ-4-(3) 地域の福祉向上のための取組を行っている。

26	Ⅱ-4-(3)-① 保育所が有する機能を地域に還元している。	a・b・c
----	--------------------------------	-------

<コメント>
児童館に遊びに来る親子が園に来て、園児と一緒に遊んだり、園内を見学する「親子教室」があり、地域の親子との交流、保育園の理解促進を図っています。また、「下野市ファミリーサポートセンター提供会員研修」を受け入れ、園での見学・実習を行っています。さらに毎年、国分寺小学校2年生の「町探検」を受け入れ、児童及びその保護者が園での見学、園児との交流を行っています。

27	Ⅱ-4-(3)-② 地域の福祉ニーズにもとづく公益的な事業・活動が行われている。	a・b・c
----	--	-------

<コメント>
本園で行う児童館の「親子教室」や「下野市ファミリーサポートセンター提供会員研修」、国分寺小学校の児童が参加する「町探検」等の事業を通して、地域の子育てニーズの把握に努めるとともに、参加者が子どもとのふれあいを体験、保育の現場を見学することで、子どもとのふれあい方、子育ての方法を体験学習する活動を行っています。

評価対象Ⅲ 適切な福祉サービスの実施

Ⅲ-1 利用者本位の福祉サービス

		第三者評価結果
Ⅲ-1-(1) 利用者を尊重する姿勢が明示されている。		
28	Ⅲ-1-(1)-① 子どもを尊重した保育について共通の理解をもつための取組を行っている。	a・b・c
<p><コメント></p> <p>「入所する子どもの最善の利益を考慮し、その福祉を積極的に増進することに最もふさわしい生活の場をつくる」と「保育理念」でうたっており、これに基づき「基本方針」や「保育目標」を定めています。「保育理念」と「基本方針」は園内の全室に掲示してあり、職員が常に意識できるようにしています。また、「全国保育士会倫理綱領」も掲示しており、常に目を留め行動指標となるように取り組んでいます。職員アンケートで「利用者を尊重したサービス提供の重要性や身体拘束や虐待防止に関して、勉強会・研修などを行っていますか。」の問いに「できている」との回答率は67%を示しています。</p>		
29	Ⅲ-1-(1)-② 子どものプライバシー保護等の権利擁護に配慮した保育が行われている。	a・b・c
<p><コメント></p> <p>子どものプライバシー保護や権利擁護に関する規定や対応などを定めた「保護者支援マニュアル」は全職員に配付され、クラスにも保管されています。また、「守秘義務厳守」、「オムツ交換時の配慮」など園内会議でも取り上げ職員に周知を図っています。園での個人情報の取り扱いについては、保護者に「個人情報の確認について」を書面にて提出いただき、これを厳守しています。利用者アンケートの「職員はあなたのご家庭やあなたのお子さんに関するプライバシー（秘密）を守っていますか。」で「はい」は92%と大変高い回答率となっています。</p>		
Ⅲ-1-(2) 福祉サービスの提供に関する説明と同意（自己決定）が適切に行われている。		
30	Ⅲ-1-(2)-① 利用希望者に対して保育所選択に必要な情報を積極的に提供している。	a・b・c
<p><コメント></p> <p>本園に関する情報は、市のホームページや「しもつけっ子 安心子育てハンドブック」により、広く情報提供されています。入園希望者に対しては「入園見学会」を2回開催し、その他個別の希望に応じて随時見学を受け付けています。見学の際は、主任が担当となり、園のリーフレットや入園案内による説明と園内見学が行われています。</p>		
31	Ⅲ-1-(2)-② 保育の開始・変更にあたり保護者等にわかりやすく説明している。	a・b・c
<p><コメント></p> <p>入園時及び進級時には、「入園のしおり」や「園のリーフレット」、「入園案内」を用いて、保護者に説明が行われています。</p> <p>各園への入園の決定は、申込書の希望等を踏まえて市が行います。また、認定区分や時間認定に変更が生じた場合には、勤務証明書を提出いただいた上で、市担当課より通知が行わ</p>		

れています。		
32	Ⅲ-1-(2)-③ 保育所等の変更にあたり保育の継続性に配慮した対応を行っている。	a・b・c
<p><コメント></p> <p>市内の公立保育園に転園する際は、児童票を送付し引き継ぎを行い、継続性に配慮した保育、支援を行っています。</p>		
Ⅲ-1-(3) 利用者満足の向上に努めている。		
33	Ⅲ-1-(3)-① 利用者満足の向上を目的とする仕組みを整備し、取組を行っている。	a・b・c
<p><コメント></p> <p>保護者が参加する「夕涼み会」や「運動会」では、保護者への「アンケート」を行い、意見や要望を聞き取り、結果をとりまとめ保護者に報告するとともに、対応について検討し改善につなげています。また、毎年6月には、保護者全員との「個人面談」を行っています。事前に質問をお聞きするなど保護者の相談に応じ、共通理解を深める取り組みとなっています。さらに、今年度から実施した「一日保育士体験」の際にも、参加した保護者と「個人面談」を行っています。</p>		
Ⅲ-1-(4) 利用者が意見等を述べやすい体制が確保されている。		
34	Ⅲ-1-(4)-① 苦情解決の仕組みが確立しており、周知・機能している。	a・b・c
<p><コメント></p> <p>「入園のしおり」に「ご意見・ご要望の解決のための仕組みについて」の記載があり保護者に説明している他、園内に掲示したり、園だより「わくわく」で紹介するなど、第三者委員等苦情解決の仕組みの周知に努めています。保護者へのアンケートにおいて、「サービスに関する不満や苦情など直接職員に言えない場合は、職員以外の人（第三者委員）にも相談できることを知っていますか。」について「はい」は76%の回答率を示しています。</p>		
35	Ⅲ-1-(4)-② 保護者が相談や意見を述べやすい環境を整備し、保護者等に周知している。	a・b・c
<p><コメント></p> <p>2歳児こあら組の靴箱の上に「ご意見箱」を設置し、合わせて「第三者委員」についての案内も掲示し、保護者に周知を図っています。保護者アンケートにおいて、「保護者が保育所の運営や保育内容などの意見を言いやすいように、職員は日常的に保護者に言葉かけを行うなどの取組をしていますか。」について「はい」は78%の回答率を示しています。</p>		
36	Ⅲ-1-(4)-③ 保護者からの相談や意見に対して、組織的かつ迅速に対応している。	a・b・c
<p><コメント></p> <p>保護者役員会の「運動会の昼食をなしにする」意見については、保護者アンケートや子ども意見を踏まえて検討し「昼食あり」で実施するなど、保護者意見に早期に対応している様子がうかがえます。保護者アンケートで「保育所は、あなたの意見や要望などに、きちんと対応してくれますか。」の間に「はい」は76%の回答率を示しています。</p>		
Ⅲ-1-(5) 安心・安全な福祉サービスの提供のための組織的な取組が行われている。		

37	Ⅲ-1-(5)-① 安心・安全な福祉サービスの提供を目的とするリスクマネジメント体制が構築されている。	a・b・c
<p><コメント></p> <p>事故等発生時の対応と安全確保などについてまとめた「保育安全マニュアル」を職員に配付し周知に努めています。日々の保育においては、「衛生管理チェックリスト日常点検表」や「遊具日常点検表」などを用いて安全確保、事故防止に取り組んでいます。また、園内会議で事故防止の注意喚起を行ったり、ケガなどが起きた際は、ヒヤリハット報告書、事故報告書に発生状況等を記載し、再発防止策を検討・記載していることを確認しました。</p>		
38	Ⅲ-1-(5)-② 感染症の予防や発生時における子どもの安全確保のための体制を整備し、取組を行っている。	a・b・c
<p><コメント></p> <p>保育安全マニュアルに、感染症と登園に関する医師の診断等について記載されています。園内で感染症が発生した際はメールで保護者に伝えられています。</p> <p>早朝保育で一人の子どもが急に激しく咳き込む状態になりました。職員は、すぐに他の子ども達を隣のクラスに移動し、出勤したばかりの職員もすぐに参加し、ティッシュを片付け床を消毒するなど迅速に対応がなされていました。このように、感染症等発生時にサービスを継続提供できるよう、全職員へのさらなる活動の周知・充実が望まれます。</p>		
39	Ⅲ-1-(5)-③ 災害時における子どもの安全確保のための取組を組織的に行っている。	a・b・c
<p><コメント></p> <p>毎年、防災計画を策定し、さらに避難訓練や不審者対応訓練についての年間計画を作成し、計画に基づき毎月訓練が実施されています。総合避難訓練では煙道体験や消火器の使用も行い、消防署員からの講評等をもとに、園内会議で職員に周知し、今後の活動に活かすよう取り組みが行われています。</p>		

Ⅲ-2 福祉サービスの質の確保

		第三者評価結果
Ⅲ-2-(1) 提供する福祉サービスの標準的な実施方法が確立している。		
40	Ⅲ-2-(1)-① 保育について標準的な実施方法が文書化され保育が提供されている。	a・b・c
<p><コメント></p> <p>市内5園で共通して定めた「保育安全マニュアル」や「保護者支援マニュアル」がある他、0歳児から5歳児までの各年齢ごとに、食事や排泄、衣服、睡眠、衛生、体力づくりを定めた「保育マニュアル」を作成しています。職員アンケートにおいて「食事介助（支援）等の標準的な実施方法に差異が生じないように、職員に対し研修や指導を行っていますか。」の問いに「できている」の回答率は低い結果となっており、全職員で取り組みの充実が求められています。</p>		
41	Ⅲ-2-(1)-② 標準的な実施方法について見直しをする仕組みが確立している。	a・b・c
<p><コメント></p> <p>「保育安全マニュアル」や「保護者支援マニュアル」などは、毎年度各園で検討し、見直</p>		

<p>しを行うこととなっています。職員アンケートで「食事介助（支援）等の標準的な実施方法の見直しには、職員や利用者の意見が反映され見直されますか。」の問いに「できている」との回答率は低く、取り組みの一層の充実・改善が求められます。</p>		
<p>Ⅲ-2-(2) 適切なアセスメントにより福祉サービス実施計画が策定されている。</p>		
42	Ⅲ-2-(2)-① アセスメントにもとづく指導計画を適切に策定している。	a・ b ・c
<p><コメント></p> <p>入園前に行われるオリエンテーションや個人面談をとおして子どもの状況を把握し、個別指導計画を作成し、また、年・月間指導計画を作成しています。職員アンケートにおいて「利用者のアセスメントやサービス実施計画には、さまざまな職種の職員が参加して協議していますか。」の問いに「できている」の回答率は低くなっており、さまざまな職種の職員がかかわれるよう、取り組みの充実・改善が求められます。</p>		
43	Ⅲ-2-(2)-② 定期的に指導計画の評価・見直しを行っている。	a・ b ・c
<p><コメント></p> <p>年間指導計画は1年を4期に分け、期ごとにクラス担当保育士が項目のチェック及び自己評価を行い、次期の見直しを行っています。月間指導計画や週案についても同様で、各担当保育士が項目のチェックや自己評価等を行い、園長の確認のもと、翌月（週）の計画が策定されています。前項と同様に、さまざまな職種の職員がかかわり評価・見直しが行われるよう、取り組みのさらなる充実が求められます。</p>		
<p>Ⅲ-2-(3) 福祉サービス実施の記録が適切に行われている。</p>		
44	Ⅲ-2-(3)-① 子どもに関する保育の記録が適切に行われ、職員間で共有化されている。	a・ b ・c
<p><コメント></p> <p>「児童票の記入の仕方について」（H27年3月作成）や「週日案・デイリープログラムの作成にあたって」（H23年4月）の文書があり、また、児童票の記入について会議で説明されるなど、職員間で統一した記録が行われるような取り組みが行われています。また、日々の子どもの様子については、「早・遅ノート」に早遅番及び担当職員が連絡事項を記載し、情報の共有化を図っています。しかし、記録の指導や周知の評価は低く、文書や伝達方法の見直し、改善が求められます。</p>		
45	Ⅲ-2-(3)-② 子どもに関する記録の管理体制が確立している。	a・ b ・c
<p><コメント></p> <p>児童票等の子どもに関する記録は、事務室内の鍵がかかるキャビネットに保管するなど、「下野市個人情報保護条例」や「ファイル基準表」に基づき管理が行われています。個人情報に関する園内研修は今年度3回実施されていますが、職員アンケートの「記録の管理の方法について、個人情報保護や情報公開の観点から、職員研修が行われていますか。」の問いでは「できている」の回答率が若干低くなっています。研修内容の見直しなど一層の充実が求められます。</p>		

A-1 保育内容

A-1-(1) 保育課程の編成		
A①	A-1-(1)-① 保育所の理念、保育の方針や目標に基づき、子どもの心身の発達や家庭及び地域の実態に応じて保育課程を編成している。	a・b・c
<p><コメント></p> <p>平成18年度の3町合併の際に、「保育理念」や「基本方針」、「保育目標」を定め直し、現在の「保育課程」にも記載されています。「保育課程」は保育指針の改定や、子どもの心身の発達・家庭の実態に応じて、毎年度末に見直しが行われることとなっています。基本方針に示されている「地域子育て家庭への支援」など、地域の実態把握に応じた取り組みのさらなる充実が求められます。</p>		
A-1-(2) 環境を通して行う保育、養護と教育の一体的展開		
A②	A-1-(2)-① 生活にふさわしい場として、子どもが心地よく過ごすことのできる環境を整備している。	a・b・c
<p><コメント></p> <p>各クラスにおいては「衛生管理チェックリスト日常点検表」があり、衛生面や防災、環境面などについて各クラス担当職員が毎日チェックを行っています。施設長会議を踏まえ、7月には誤飲の危険性のあるおもちゃの再確認・撤去が行われました。各クラスの室温設定は、活動内容や子どもの状況をみて柔軟に対応しているように見受けられますが、定期的に温湿度を測定・記録するなどにより、より適正な環境の形成につながるものと思われます。</p>		
A③	A-1-(2)-② 一人ひとりの子どもを受容し、子どもの状態に応じた保育を行っている。	a・b・c
<p><コメント></p> <p>子どもの欲求を受けとめ、子どもの気持ちに添った保育を行うために、職員と子どもが1対1の関わり（子どもを膝の上に乗せて絵本を読む時間をつくるなど）、丁寧な関わりを大切にしています。登園の際に、家庭から持参したタオルについて、職員は子どもの様子を見て「一人でタオルを掛けてくれるの。では先生は見てあげるね。」といった会話がなされており、子どもの様子を見てその欲求に応えるよう対応している様子が見受けられました。</p>		
A④	A-1-(2)-③ 子どもが基本的な生活習慣を身につけることができる環境の整備、援助を行っている。	a・b・c
<p><コメント></p> <p>カエルの顔に子どもが色を塗った「はみがきカード」は、家に持ち帰り家庭ではみがきを楽しみながら取り組む工夫の一つです。食器の配膳が苦手な子ども、皆と同じように容易に並べられるようにと、ランチョンマットの絵に色を塗り、飾っています。トイレには「きれいにそろえてくれてありがとう」と、トイレスリッパが並んでいる写真が貼ってありました。色々な場面で、自分で色を塗ったり、写真でみたりしながら生活習慣を身につけるための工夫ある取り組みが見受けられました。</p>		
A⑤	A-1-(2)-④ 子どもが主体的に活動できる環境を整備し、子どもの生活と遊びを豊かにする保育を展開している。	a・b・c

<p><コメント></p> <p>一日の流れをゆったりと計画し、十分に遊びこむことができる環境が大切と考えています。戸外活動の場面では、主体的に遊びを展開できるようにテーブルベンチや砂場道具を準備しています。また、クラスでは年齢に応じて玩具や素材、クレヨン、のりなどが自由に使えるようにしています。食事の場面では、苦手な食材も少しは食べ、次に繋がる（次はもう少し食べる等）よう声かけしていますが、一方で、残したい時にどう伝えたらよいか、自分からどうしたいか伝えられるように話をしています。</p>		
A⑥	A-1-(2)-⑤ 乳児保育（0歳児）において、養護と教育が一体的に展開されるよう適切な環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。	a・b・c
<p><コメント></p> <p>0歳児は、発達が著しく個人差が大きい時期であり、1対1での関わりと受容を大切に過ごすこととしています。一人ひとりの生活の流れを保持しつつ積極的な運動や外気浴を取り入れたり、絵本の読み聞かせを通して情緒の安定と発語を促すよう配慮しています。また連絡帳を通して保護者との連携を図り、離乳食については家庭の様子を聞き取り、栄養士と相談の上、提供しています。</p>		
A⑦	A-1-(2)-⑥ 3歳未満児（1・2歳児）の保育において、養護と教育が一体的に展開されるよう適切な環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。	a・b・c
<p><コメント></p> <p>1歳児は14名と子どもの数が多く、動きが活発なクラスです。保育室内にあった柵を今年度撤去しました。子どもの活動が広がるこの時期に、柵にぶつかったりせず、少しでも自由に動き回れるようにとの判断から撤去したものです。</p> <p>2歳児では園庭でみつけた「カタツムリ」が飼育されていました。訪問した日の活動は、ティッシュボックスの上にトイレットペーパーの角を立てて「鬼のお面」を作っていました。子どもの発想から色とりどりの毛糸を丸めて髪の毛として鬼の頭にのせることになりました。探索活動や子どもの気持ちを尊重した取り組みが行われていることが感じられます。</p>		
A⑧	A-1-(2)-⑦ 3歳以上児の保育において、養護と教育が一体的に展開されるよう適切な環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。	a・b・c
<p><コメント></p> <p>牛乳パックで柱や梁をつくり、段ボールで壁や屋根を載せて、家が完成しました。読書スペース用にと牛乳パックで椅子が作られました。段ボールによって区切られたスペースではお店屋さんごっこを行っているクラスもあります。このように、段ボールや牛乳パックなどを用いて遊び道具をつくり、子ども達の自由な発想によってさまざまな遊び・環境設定へと展開がなされています。また、役割を果たす満足を得られるよう当番活動を行ったり、国際交流員による英語教室などさまざまな体験が行われています。</p>		
A⑨	A-1-(2)-⑧ 障害のある子どもが安心して生活できる環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。	a・b・c
<p><コメント></p>		

<p>発達支援センターとの連携や、社会福祉協議会等の研修に職員が参加し、支援が必要な子どもの受け入れに努めています。支援が必要な子については、保健師と連携し、支援センター等へつなげるよう取り組んだり、個別計画を作成し支援を行っています。発達障害等に関する情報の発信は多くの園で課題となっており、本園でも工夫ある取り組みが求められます。</p>		
A⑩	A-1-(2)-⑨ 長時間にわたる保育のための環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。	a・b・c
<p><コメント></p> <p>早朝保育、遅番保育とも1名は同じ職員が担当する体制となっており、子どもや保護者に安心感を与えたり、前日からの関わり等を継続して対応できるようにしています。</p> <p>今年度は延長保育の子どもが少ないとのことであり、少人数でも楽しめる「かるた遊び」などを行ない、また、翌日も続けて遊べる流れを作り、残っている子どもが寂しくならないような配慮がなされています。</p>		
A⑪	A-1-(2)-⑩ 小学校との連携、就学を見通した計画に基づく、保育の内容や方法、保護者との関わりに配慮している。	a・b・c
<p><コメント></p> <p>5歳児については、年間計画において就学を見通した計画を作成しています。また、幼小連携事業により、授業参観や保育参観などの職員の交流や、子どもが小学校を訪問する授業見学、交流活動などが行われ、さらに、要録などの情報を小学校に提供したり、特に支援が必要な子どもについては、個別指導計画等を活用し、入学後の適切な指導につなげる体制が整えられています。</p>		
A-1-(3) 健康管理		
A⑫	A-1-(3)-① 子どもの健康管理を適切に行っている。	a・b・c
<p><コメント></p> <p>子どもの「健康記録」は、年度末に保護者に確認・記入いただき、共有化を図っています。日々の保育においては、連絡帳や送迎時の保護者との会話を基本に、朝晩の視診や適宜検温を行うなど子どもの状態の把握に努めています。また、夏季(5~10月)は裸足保育を室内で、園庭では遊びの内容により行っている他、熱中症対策として水分補給にも留意して保育が行われています。保護者アンケートで「保育中の発熱やけがの処置、保護者への連絡等体調変化への対応は十分ですか。」の問いに「はい」は92%と大変高い回答率を示しています。</p>		
A⑬	A-1-(3)-② 健康診断・歯科健診の結果を保育に反映している。	a・b・c
<p><コメント></p> <p>内科、歯科検診、尿検査を年に2回実施しています。欠席した子どもについては個人での受診をお願いしています。園での内科検診で所見のある場合には、保護者に口頭で伝えています。歯科検診については文書でお知らせし、治療後は「歯科治療報告書」を提出していただいています。</p>		
A⑭	A-1-(3)-③ アレルギー疾患、慢性疾患等のある子どもについて、医師からの指示を受け適切な対応を行っている。	a・b・c
<p><コメント></p> <p>「食物アレルギー対応マニュアル」に基づき、保護者と面談を行い、半年ごとまたは医師</p>		

<p>の指示期間まで生活管理指導表の提出をお願いしています。事前に献立予定表を用いてアレルギー代替食の検討を行い、保護者の確認の上で給食を提供しています。誤食を防止するため専用のトレイ・食器を用いて配膳用名札を使用し、調理員と保育士とが双方で確認して提供しています。</p>		
<p>A-1-(4) 食事</p>		
A⑮	A-1-(4)-① 食事を楽しむことができるよう工夫をしている。	a・b・c
<p><コメント></p> <p>年齢ごとに「食育年間計画」を策定し、キュウリやホウレン草、枝豆、サツマイモなどを栽培・収穫し、とうもろこしの皮むきや焼き芋体験を行うなど、楽しみながら食への関心を高める取り組みが行われています。また、保育参観での給食試食会や、5歳児クッキング、民生児童委員の協力による「親子クッキング」なども行われています。さらに栄養士が給食の献立の写真を撮影し、各クラスに順番に写真を掲示しています。給食を保護者に伝えるために、今年度から取り組んでいるとのことであり、わかりやすく伝えられていると感じます。</p>		
A⑯	A-1-(4)-② 子どもがおいしく安心して食べることのできる食事を提供している。	a・b・c
<p><コメント></p> <p>給食の献立は市の栄養士が作成しており、市内5園で共通となっています。月ごとに各5園の子どものリクエストに応えるメニューや、誕生会メニュー、季節・歳時記に応じたメニューなどもあります。検食や給食状況については日誌等に記録し、園内給食会議や献立会議において話し合い、改善される体制がとられています。</p>		

A-2 子育て支援

<p>A-2-(1) 家庭との緊密な連携</p>		
A⑰	A-2-(1)-① 子どもの生活を充実させるために、家庭との連携を行っている。	a・b・c
<p><コメント></p> <p>家庭との連携においては、朝夕の通園時における保護者との日々のあいさつを基本に、連絡帳（0・1歳児は毎日、2歳以上は必要に応じて記載）や個人面談、保育参観などを通して家庭との連携を図っています。さらに、今年度は「一日保育士体験」を行い12名の保護者が参加しました。保護者アンケートで「子どもの状態や育ちについて、保護者の相談に応じてくれますか。」の問いに「はい」は90%と大変高い回答率を示しています。</p>		
<p>A-2-(2) 保護者等の支援</p>		
A⑱	A-2-(2)-① 保護者が安心して子育てができるよう支援を行っている。	a・b・c
<p><コメント></p> <p>保護者が安心して子育てできるように、日々のコミュニケーションや連絡帳を通して保護者と連携をとっています。さらに、毎年6月にはすべての保護者を対象に個人面談を行い、年末に実施した一日保育士体験参加者とも個人面談を実施しています。保護者アンケートで「お子さんの発達や育児について懇談会等を開催し、保育所と保護者が共通認識を得る取組を行っていますか。」の問いに「はい」は60%の回答率を示しています。</p>		

A⑱	A-2-(2)-② 家庭での虐待等権利侵害の疑いのある子どもの早期発見・早期対応及び虐待の予防に努めている。	a・b・c
<p><コメント></p> <p>子どもの虐待については、「入園のしおり」にも記載し、しつけとは異なることなどをオリエンテーション時に説明しています。「保護者支援マニュアル」に「虐待が疑われる子の早期発見」や「虐待の疑い発見のチェックリスト」、「児童虐待対応の流れ」などが記載されており、全職員に配付し理解に努めるとともに、各クラスにも配置されています。また、虐待防止講演会・研修会にも職員が参加しています。</p>		

A-3 保育の質の向上

A-3-(1) 保育実践の振り返り（保育士等の自己評価）		
A⑳	A-3-(1)-① 保育士等が主体的に保育実践の振り返り（自己評価）を行い、保育実践の改善や専門性の向上に努めている。	a・b・c
<p><コメント></p> <p>職員は、各クラスの指導計画を作成する際に、前年（月・週）の反省（自己評価）を行い、改善のもと次期計画を立案しています。また、市の人事評価のシステムに従い、自己の振り返り・評価から向上に努めています。「人権擁護のためのセルフチェックリスト」が職員に配られていますが、活用は個人にまかされています。個人の評価が園全体の自己評価・改善につながるよう、園として、組織として関与していくことも必要ではないかと思われま</p>		